

報道関係者各位

No.61119

2013年6月6日  
株式会社東陽テクニカ

**東陽テクニカとアラクサラネットワークス、  
プログラマブルネットワークに対応した、高性能ルータの運転状態可視化を共同展示**

(「INTEROP TOKYO | 2013」アラクサラネットワークス展示ブース内にて)

**【展示ブース番号】**

東陽テクニカ 5B11

アラクサラネットワークス 5N28

[株式会社東陽テクニカ](#)(本社: 東京都中央区、代表取締役社長 五味 勝、以下「東陽テクニカ」)は、2013年6月12日から14日に開催される [INTEROP TOKYO | 2013](#) のアラクサラネットワークス株式会社展示ブース内において、プログラマブルネットワークに対応した、高性能ルータの実演展示を共催します。この展示では、[アラクサラネットワークス株式会社](#)(以下「アラクサラネットワークス社」)の協力を得て、アラクサラネットワークス社製 AX8600R と、東陽テクニカが総代理店となっている米国スパイレントコミュニケーションズ社(以下「スパイレント社」)の [Spirent TestCenter](#) 及び [iTest\(アイテスト\)](#) を使用しております。

本展示では、2つのデモンストレーションを行っております。

1つ目のデモンストレーションでは、Spirent TestCenter の 100 ギガビットトラフィック印加/表示機能を用いて、昨今話題の SDN をベースとしたプログラマブルネットワークへの対応も視野に入れたハイブリッドエンジンアーキテクチャをわかりやすく説明しております。Spirent TestCenter からの 100 ギガビットのトラフィックを AX8600R のハイブリッドエンジンアーキテクチャを用いて多種多様なプロトコルに変換し、トラフィックの入出力状況を Spirent TestCenter で表示させることで、AX8600R のハイブリッドエンジンアーキテクチャが高性能と高拡張性を両立していることを示します。

2つ目のデモンストレーションでは、iTestの自動ビジュアライゼーション機能を用いて、AX8600Rの稼働状況を来場者にわかりやすく可視化しております。Spirent TestCenter で AX8600R へトラフィックを印加した状態で AX8600R の運転状態(通過トラフィック量、学習経路数、電力)を iTest で自動的にグラフ化することで、ShowNet の 100 ギガビットイーサネットバックボーンでも稼働中の AX8600R がミッションクリティカルなネットワーク構築に最適な高性能ルータであることを示します。

今後、SDN 対応の通信網および 100 ギガビットイーサネットの実用化と普及がますます加速することが期待されています。東陽テクニカは、世界最高品質かつ低コストである「日本品質イーサネット」の提供を目指し、アラクサラネットワークス社と共に情報通信基盤の進化をサポートしていきます。

[米国スパイレントコミュニケーションズ社 (Spirent Communications)について]

[スパイレントコミュニケーションズ社](#)は、研究開発ラボや通信事業者、通信機器製造会社、一般企業の IT 部門などで使用されるテスト機器の製造販売やコンサルティングサービスを行う業界のリーダ企業です。同社のソリューションは 100G ハイスピードイーサネットの有線から無線通信、衛星通信に至るまで、あらゆるお客様の QoE(Quality of Experience)を高めることができます。東陽テクニカは同社の日本国内における総代理店です。

## [Spirent TestCenter について]

次世代 IP 負荷測定/擬似エミュレーション・ツール「[Spirent TestCenter](#)」は、スパイレントコミュニケーションズ社が AX/4000 や SmartBits で培ったノウハウをもとに、ハイスピードイーサネットにも対応し、全ストリームのリアルタイム/ハイパフォーマンス QoS 解析やルーティング/アクセスプロトコルエミュレーションなど様々なアプリケーションに対応する業界標準の最先端 IP テスタです。

## [iTest について]

自動化支援ツール「[iTest\(アイテスト\)](#)」は、スパイレントコミュニケーションズ社が提唱する「ITO(インフラストラクチャ テスト オプティマイゼーション、試験環境の最適化)」ソリューションの一つとなります。ネットワーク機器検証で最も重要となる「リグレーション試験」、「デバッグ」、「再現試験」といったリソースと時間を必要とする役割を担い、機器操作はもちろん、ログやトレースデータの解析、結果判定まで自動で行うことができます。既に多くの国内企業も採用し、開発スピードのアップ、品質向上、さらにはコストパフォーマンスの改善と様々な成功事例を持つ、今、ネットワーク業界で話題の自動化ツールです。

## [株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を主として欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400 人を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、<http://www.toyo.co.jp> をご覧ください。

## [アラクサラネットワークス株式会社について]

アラクサラネットワークス株式会社は、「快適で安心して使えるネットワークを世界の人々に提供し、豊かな情報通信社会の実現に貢献」を企業理念としています。情報ライフラインを支える概念としてギャランティード・ネットワークを提唱し、ネットワーク構築に必要な基幹系ルータおよびスイッチの開発から設計、製造、販売、保守のサービスを提供しています。

“Spirent TestCenter”、“iTest”およびスパイレント社製品に関するお問合せは下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 情報通信システム営業部

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: [spirent-web@toyo.co.jp](mailto:spirent-web@toyo.co.jp)

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 経営企画室

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: [kikaku@toyo.co.jp](mailto:kikaku@toyo.co.jp)

\* 記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

\* 記載の商品名、価格および担当部署、担当者、Web サイトの URL などは、本リリース発表時点のものです。